

ヨハネの福音書 (62)
「イエスとペテロの対話」
ヨハ 21 : 15～25

1. 文脈の確認

- (1) 前書き (1 : 1～18)
- (2) イエスの公生涯 (1 : 19～12 : 50)
- (3) イエスの私的奉仕 (13 : 1～17 : 26)
- (4) イエスの受難 (18～20 章)
- (5) エピローグ (21 章)
 - ①ガリラヤ湖畔での顕現 (21 : 1～14)
 - ②イエスとペテロの対話 (21 : 15～23)
 - ③後書き (21 : 24～25)

2. 注目すべき点

- (1) 3度の質問と3重の委託
- (2) ペテロの殉教の予告
- (3) 弟子道の原則

イエスはペテロの使徒職を回復された。

3つのステップを通してそれが行われた。

I. 3度の質問と3重の委託 (15～17 節)

1. 15 節

Joh 21:15 彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たちが愛する以上に、わたしを愛していますか。」ペテロは答えた。「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたをご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの子羊を飼いなさい。」

(1) 最初の質問

- ①「あなたは、この人たちが愛する以上に、わたしを愛していますか」
- ②「私があなたを愛していることは、あなたをご存じです」
- ③ペテロは、他者との比較をしなくなっている。

(2) 最初の委託

- ①「わたしの子羊を飼いなさい」と命じた。
- ②「子羊」とは、霊的に幼い信者のことである。

- ③ここでは、漁師のイメージから、羊飼いのイメージへの移行がある。
- ④伝道の強調から、牧会の強調への移行がある。
 - *教会の誕生が前提となっている。
 - *「飼う」は「ボスコウ」(食べさせる)である。
- ⑤ペテロは、ペテロの手紙第一を書いてこの命令を果たした。

2. 16 節

Joh 21:16 イエスは再び彼に「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛していますか」と言われた。ペテロは答えた。「はい、主よ。私があなを愛していることは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」

(1) 第2の質問

- ①「あなたはわたしを愛していますか」
 - *イエスも、他者との比較をやめた。
- ②「私があなを愛していることは、あなたがご存じです」
 - *ペテロの答えは、最初と同じであった。

(2) 2 番目の委託

- ①「わたしの羊を牧しなさい」
 - *「わたしの羊」とは、信者一般である。
 - *「牧する」は「ポイマイノウ」(羊飼いの仕事をする)である。
- ②ペテロは使徒たちの中でリーダーとなり、初代教会で群れを監督した。

3. 17 節

Joh 21:17 イエスは三度目もペテロに、「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛していますか」と言われた。ペテロは、イエスが三度目も「あなたはわたしを愛していますか」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは、私があなを愛していることを知っておられます。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

(1) 第3の質問

- ①「あなたはわたしを愛していますか」
- ②「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは、私があなを愛していることを知っておられます」
- ③イエスが3度ペテロに聞いたのは、ペテロがイエスを3度拒否したからである。
- ④ペテロは、それに心を痛めた。
- ⑤ペテロがイエスを3度拒否したのは、炭火のそばである。

⑥ペテロは、炭火のそばでイエスを愛していると 3 度告白した。

(2) 3 番目の委託

①「わたしの羊を飼いなさい」

*「わたしの羊」とは、信者一般である。

*「飼う」は、1 番目の委託と同じく「ボスコウ」(食べさせる)である。

②ペテロは、ペテロの手紙第二を書いてこの命令を果たした。

(3)「愛」という動詞の使用法について

①「アガパオウ」と「フィレオウ」

②「アガパオウ」と「フィレオウ」

③「フィレオウ」と「フィレオウ」

④2 つの動詞に使い分けは、文学形式上の手法と考えられる。

II. ペテロの殉教の予告 (18～19 節)

1. 18 節

Joh 21:18 まことに、まことに、あなたに言います。あなたは若いときには、自分で帯をして、自分の望むところを歩きました。しかし年をとると、あなたは両手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をして、望まないところに連れて行きます。」

(1)「まことに、まことに、あなたに言います」

①厳粛な内容の預言が語られる。

②ペテロは、老年になると苦難に遭遇する。殉教の死の予告である。

2. 19 節

Joh 21:19 イエスは、ペテロがどのような死に方で神の栄光を現すかを示すために、こう言われたのである。こう話してから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」

(1) ペテロは、殉教の死を通して主イエスへの愛を示すのである。

①死は神の栄光の現れとなる。

(2)「わたしに従いなさい」と言われた。

①ペテロは、その命令に最後まで従った。

②ペテロは十字架に逆さに吊るされて死んだという伝承がある。

III. 弟子道の原則 (20～23 節)

1. 20～22 節

Joh 21:20 ペテロは振り向いて、イエスが愛された弟子がついて来るのを見た。この弟子は、夕食の席でイエスの胸元に寄りかかり、「主よ、あなたを裏切るのはだれですか」と言った者である。

Joh 21:21 ペテロは彼を見て、「主よ、この人はどうなのですか」とイエスに言った。

Joh 21:22 イエスはペテロに言われた。「わたしが来るときまで彼が生きるように、わたしが望んだとしても、あなたに何の関わりがありますか。あなたは、わたしに従いなさい。」

(1) ペテロはヨハネのことが気になったので、「この人はどうなのですか」と尋ねた。

①恐らく、イエスは再臨の話をされていたのであろう。

②「彼は生きていて再臨を見るようになるのでしょうか」と聞いた可能性がある。

(2) イエスはペテロを叱責された。

①ヨハネに何が起ころうとも、それはあなたには無関係である。

2. 23 節

Joh 21:23 それで、その弟子は死なないという話が兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスはペテロに、その弟子は死なないと言われたのではなく、「わたしが来るときまで彼が生きるように、わたしが望んだとしても、あなたに何の関わりがありますか」と言われたのである。

(1) ヨハネは、イエスのことばに関する誤解を解いている。

①イエスは、ヨハネが再臨まで生き延びると言われたのではない。

②ただ、「あなたには何の関わりがありますか」と言われたのである。

IV. 後書き (24～25 節)

1. 24 節

Joh 21:24 これらのことについて証しし、これらのことを書いた者は、その弟子である。私たちは、彼の証しが真実であることを知っている。

(1) 「これらのことについて証しし、これらのことを書いた者」

①ヨハネは単なる記者ではなく、「証人」として証言している。

②「私たち」という主語は、この福音書の内容が真実であることを証言している。

③ヨハ 20 : 31 の補強であり、保証である。

2. 25 節

Joh 21:25 イエスが行われたことは、ほかにもたくさんある。その一つ一つを書き記すなら、世界もその書かれた書物を収められないと、私は思う。

(1) 誇張法が用いられている。。

①この福音書に記された情報は、ほんの一部である。

今日の信者への適用

1. 失敗しても終わりではない。
 - (1) 主イエスは、和解の食事を用意してくださる。
 - (2) 「私を愛するか」と聞いてくださる。
 - (3) 新しい使命を与え、愛の証明を迫ってくださる。
2. キリストの助けなしには、収穫はない（特に伝道における霊的収穫）。
 - (1) 主と一対一で交わる必要がある。
 - (2) 聖霊の導きに従う必要がある。
3. 比較の誘惑から解放される必要がある。
 - (1) 一人ひとりに固有の召しを与えられている。
 - (2) 他の働き人との比較は無用である。
 - (3) 「あなたは、わたしに従いなさい」という声に耳を傾ける。